

革新懇運動の三つの共同目標

- ①日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

大阪革新懇だより

第 205号

2019年12月10日 (火)

発行 進歩と革新をめざす大阪の会
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15
電話 06-6357-5302 FAX 06-6357-9410
Eメール kakusin@d1.dion.ne.jp
大阪革新懇のホームページ
http://www.kakusinkon.com/

安倍も、維新も大阪から倒す!

安倍政権と維新政治を終わらせ

総選挙勝利・野党連合政権実現をめざす立憲野党シンポジウムin大阪



主催者あいさつ

大阪革新懇代表世話人 渡辺 武

安倍政権を倒し野党連合政権をつくる。維新政治も退場させましょう。「桜を見る会」で安倍政権は、追い詰められ、先日、立憲民主党の枝野代表が解散の可能性に言及しました。ただ大阪では「市民と野党」結束が最前線をいっているという状況ではありません。今日が、大阪から政治を切り拓いていく契機となることを願い、シンポジウムを開催いたしました。

問題提起

野党連合政権へ、本気の構えを今すぐに

全国革新懇代表世話人 石川 康宏さん
神戸女学院大学教授

私の話は野党で力を合わせて、市民と共同し、今の安倍政権だけではなく自民党政権そのものを倒しにいく。政権をわが手にとる衆議院選挙にしていきたいと思います。という問題提起です。

2015年末に市民連合が結成され、16年の参院選挙で国政初の共闘の選挙が行われました。32の1人区共闘です。その3年前の選挙では岩手と沖繩しか野党は勝利することができませんでした。

大阪革新懇は11月16日、「安倍政権と維新政治を終わらせ、総選挙勝利・野党連合政権実現をめざす立憲野党シンポジウムin大阪」を大阪市で開催し、100人の市民が集まりました。立憲民主党の村上史好衆議院議員と日本共産党の清水史衆議院議員が、総選挙勝利への野党共闘の発展を訴えました。国民民主党の玉木潤一大阪府連事務局長も出席しました。

私がうれしかったことは、立憲の枝野代表が「今回の経験を生かして、次の衆議院選挙ではしっかりと政権交代に向けたチームを組んでいけると思う。今度の5党1会派の枠組みをいかに

2017年選挙は、野党共闘候補が3野党の比例票をはるかに上回り得票するところが多かった。この夏の参院選も同様で、32選挙区のうち、29の選挙区で、共闘したことではるかに多くの得票となりました。一番多い愛媛は21.2%です。愛媛では無党派の7割半を占めています。

2013年43位から、2019年は58位まで下がってきています。この国を先進国にとらえるのは幻想です。デンマークは学費は幼稚園から大学院まで完全無料。大学生には毎月約10万円の奨学金が支給されます。それは学生にはアルバイトしなくて勉強してほしいからです。今の社会の中で若い人が一番賢いという状況をつくるのが、社会の未来を拓くことにつながるからです。もちろん医療・介護も無料で、病院にはお金を支払う窓口はなく、すべて税金で賄うわけです。

でも税金が高いのでは？と言われます。確かに消費税25%ですが、見返りがどれくらいあるかを基準に考えるべきものです。デンマークの税収の3分の2は直接税の所得税・法人税です。

今年6月のデンマーク総選挙の投票率は84.5%です。日本でもこの国をどうしたいということを自らの問題として考えるような主権者市民を増やしていきたい。今の市民と野党の共闘は、そういう市民を育てる機会になると思います。

では、野党連合政権をどうやって実現していくのか。実は市民連合が接着剤になって、2017年は7項目に広がり、2019年には13項目に広がりました。安倍政権の改憲は反対。安保法制、共謀罪などは白紙撤回。防衛予算は削減し他のことにまわす。辺野古の新基地建設は中止。日米地位協定は変更。そして東アジアを平和な地域にする。日朝平壤宣言で北朝鮮との関係も正常化し、拉致問題の解決をすすめる。原発はゼロ。インフラ統計に基づく法律は廃止。消費税のかわりに所得、資産、法人の各分野における総合的な税制の公平化をはかる。若い人が子育てしやすい社会にする。最低賃金は1500円をめざす。死ぬまで働かなくても8時間働いて生きていけるルールをつくる。若い人が安心

して生活できるように公営住宅を拡充する。LGBT(性的マイノリティ)への差別解消施策、そして、さまざまな疑惑は解明をする。「桜を見る会」究明するということですね。メディアも、報道の自由を徹底するために監督を総務省から切り離す。こういう13項目について、サインがされたわけです。その後も、カジノ反対、FTA反対、被災者支援をしっかりとやる、2050年CO2排出はゼロ、核兵器禁止条約の批准などの事柄等で一致しました。

大阪では、維新の化けの皮(野党ポーズ)をはがすことも大事です。同時に重要なことは、なかなか選挙に足を運んでくれない無党派のみなさん。実は無党派、支持政党なし層は、世論調査ではカジノ反対、都構想反対が多数派です。

立憲野党が力を合わせ、大きい構えを全面に示してたたかうこと、それが大事であるということ、それが大事で、問題提起とします。

メッセージをいただいた方々

立憲民主党・大阪府連合代表代行 森山 裕行 衆議院議員
国民民主党・大阪府総支部連合会代表 平野 博文 衆議院議員
社会民主党・大阪府連合常任顧問 服部 良一 元衆議院議員

参加者の感想

- 野党共闘の悩みも含めて、ざっくばらんに語っていただいたとても素晴らしい集会。衆院選や野党統一政権にむけて希望がもてるお話をした。
- どんな感じのシンポジウムか興味津々。始まればいい空気感。石川先生のおかげでこいつ取り組みは回数を重ねることが大事かと思う。メディアにPRを。
- 石川先生のわかりやすい説明は参考になりました。説明は参考になりました。パネラーの発言は、共闘への接近の力強さを感じとれました。野党13項目の合意と維新への反撃を、ともに頑張る意義を痛感しました。次はもっと広い会場で。
- 2党以外も勢ぞろいすると思っていたザンネン。立憲幹部の話の初め系統的に聞けてよかった。府政課題でも一致点が多かった。
- 野党共闘の大事さが改めて深まりました。このような催しを連続して開催してください。
- 安倍政権にも維新政治にも、野党が団結することしかないということがよくわかりました。衆院選への準備を早く、これが明確になりました。
- 野党連合政権をめざし、地元からの声を活動を強める必要性を感じました。
- 若い人を巻き込んで！寝屋川の思いよくわかりました。新婦人の力強さに感動。革新懇にますます大きな役割。期待します。